

日本国憲法 20 問確認テスト 制限時間 20(25)分

問1 日本国憲法が規定する内容として誤っているものを選び。

- ① 家族に関する法律は、両性の本質的平等に立脚して制定される。
- ② 人種や信条を理由に政治的,経済的,社会的関係において差別されない。
- ③ 選挙人の資格は、国籍によって差別されない。
- ④ 華族その他の貴族の制度は認められず、栄典の授与は特権を伴わない。

問2 次の文章は第 25 条である。()に当てはまる言葉を書き入れろ。

すべて国民は、()の生活を営む権利を有する。

問3 生存権が論点となった訴訟を2つ選べ。

- ① 朝日訴訟 ② 横浜訴訟 ③ 日立訴訟 ④ 堀木訴訟

問4 日本国憲法が保障する人身の自由の記述として適当なものを選び。

- ① 逮捕の際には、検察官の発する令状が必要である。
- ② 唯一の証拠が自白の時、刑罰を科すことが禁じられている。
- ③ 重大な被害をもたらした行為は、実行時に処罰する法律がなくても、後に法律を制定し、処罰できる。
- ④ 無罪判決が出ても、再審が行われることがある。

問5 次のうち日本国憲法の規定として誤っているものを選び。

- ① 公務員を選定し、及びこれを罷免することは、国民固有の権利である。
- ② 国会は、国権の最高機関であつて、国の唯一の立法機関である。
- ③ 皇位は、皇統に属する男子が、これを継承する。
- ④ 思想及び良心の自由は、これを侵してはならない。

問6 マスメディアに接近し、意見や反論を述べる権利をなんとというか。

問7 プライバシー権に関する事件を選び。

- ① 「宴のあと」事件 ② 肖像権事件 ③ 猿払事件 ④ 東大ポポロ事件

問8 天皇の国事行為について誤っているものがあれば選べ。

- ① 国会の召集 ② 衆議院の解散 ③ 栄典の授与 ④ 憲法改正の公布 ⑤ 誤りなし

問9 第1審で初めて自衛隊が違憲であると判決が出された裁判を選び。

- ① 長沼ナイキ基地訴訟 ② 恵庭訴訟 ③ 砂川訴訟 ④ 百里基地訴訟

問 10 大日本帝国憲法はどここの国の憲法を手本にしたか書け。

問 11 憲法改正に時間がかかり、改正が困難な憲法を何というか書け。

問 12 信条の自由に関するものを選べ。

- ① チャタレイ事件 ② 足利事件 ③ 空知太訴訟 ④ 三菱樹脂訴訟

問 13 日本国憲法に記述がある国民の3大義務を書け。

問 14 大阪空港騒音公害訴訟は何の権利について争ったものか書け。

問 15 日本国憲法が定める国会議員の規定で正しいものを選べ。

- ① 会期中は現行犯以外で逮捕されない
② 衆議院の議員のみ議院で行なった演説について責任を問われる。
③ 両議員の議員は、国庫から相当額の8割を受ける。
④ 各院の議員5名は同時に両議院の議員を兼ねることができる。

問 16 日本国憲法に規定される次の文の誤りがある箇所はどこか。

すべて国民は、法律の定めるところにより、その能力に関係なく、

①

②

③

ひとしく教育を受ける権利を有する。

④

問 17 君主によって定められた憲法を何というか書け。

問 18 冤罪事件として正しいものを選べ。

- ① 和歌山市毒殺事件 ② 吉野事件 ③ 島本事件 ④ 免田事件

問 19 第60条について()に当てはまるものを選べ。

予算は、さきに()に提出しなければならない。

- ① 衆議院 ② 参議院 ③ 衆議院又は参議院 ④ 内閣総理大臣の主宰する閣議

問 20 日本国憲法が公布された日はいつか書け。